

(様式2)

令和6年度 大城小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

- 提言① 家庭や地域と連携した読書活動と家庭学習の充実を図る。
提言② 基本的な生活習慣の確立のための「スローメディア週間」を設定し、家族の会話タイムを増やす取組を行う。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(3者協働の場合)

具 体 的 な 取 組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○児童の学力の実態と課題を家庭や地域に説明する。 ○適切な量と質の家庭学習の課題を出し、実施できたかの確認と支援を行う。 ○朝のますかげタイム、放課後の学習タイムを活用し、学力補充の充実を図る。 ○各学年の目標読書冊数を決め、計画的な推進に努める。	○毎月23日を「おおき読書の日」と設定し、保護者がプリントのコメント欄に感想を記入し意欲付けを行う。 ○家庭学習への励ましや賞賛の声かけを行う。	○読書ボランティアによる読み聞かせを全学年で月に1~2回程度実施する。 ○読み聞かせの地域ボランティアの募集を行う。
提言②	○スローメディアの期間を設定する。(中学校の考査中) ○スローメディアの取組の結果を家庭・地域に知らせる。	○家庭でテレビやゲームの時間を決める話し合いをする。 ○スローメディア期間は、積極的にテレビやゲームの時間を守り、親子で会話したり、学習する環境を整えたりする。	/

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童の成長

〈年度初め〉	〈年度末〉
① 年間一人あたり貸出数70冊の児童の割合:41.3% 学年×10分の家庭学習を行う児童の割合:88% ② 平日のメディア使用時間が2時間以下の割合:児童70%(保護者60.8%)	① 年間一人あたり貸出数70冊の児童の割合:50% 学年×10分の家庭学習を行う児童の割合:90% ② 平日のメディア使用時間が2時間以下の割合:児童85%(保護者65%)